

# 令和3年度（2021年度） 事業実績報告書

## 1. 申請者の概要

申請者	団体名		泉南市商工会	
	代表者職・氏名		会長 藤田 眞弘	
	所在地		〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜2-5	
	担当者	職・氏名	事務局長 土井 一茂	
		連絡先	TEL（直通）：	072-483-6365
			Fax：	072-483-5321
		E-mail：	info@sennan-sci.or.jp	
①設立年月日		昭和47年7月10日		
②職員数 （うち経営指導員数）		6名（経営指導員5名）（令和4年4月1日現在）		
③所管地域		大阪府泉南市		
④管内事業所数		2,128事業所（平成28年度経済センサス）		
⑤管内小規模事業者数		1,423事業所（平成28年度経済センサス）		
⑥会員数（組織率）		1,188事業所（55.8% 令和4年3月31日現在）		
		※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること		
□主な事業概要（定款記載事項等）				
<p>(1) 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。</p> <p>(2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。</p> <p>(3) 商工業に関する調査研究を行うこと。</p> <p>(4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。</p> <p>(5) 展示会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。</p> <p>(6) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</p> <p>(7) 商工会として意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</p> <p>(8) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。</p> <p>(9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</p> <p>(10) 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を処理すること。</p> <p>(11) 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。</p> <p>(12) 商工業者の福祉厚生に資する事業を行うこと。</p> <p>(13) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。</p> <p>(14) 外国人研修生の受け入れに関する事業を行うこと。</p> <p>(15) 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</p>				

<p><b>(1) 事業の目標</b></p> <p>地域小規模事業者の抱える個々の課題については巡回訪問等により課題を把握し、経営相談や専門相談により迅速に対処していく。そのために各種支援制度や助成金制度等の情報発信を行い、即座に対応が出来る体制を整える。</p> <p>中小企業・小規模事業者への経営指導や地域活性化事業等の取り組みについては、前期の巡回訪問により情報を得た事業所のニーズに基づき、通常の巡回訪問や窓口相談の際に、“事業者の抱える課題は何か”を常に意識して接することに努め、各事業所の役に立つ様々な情報の提供を行い、事業所が気軽に相談できるよう、出来るだけ先方に訪問するように心掛ける。そして、前向きに取り組む事業所に対し実績が上がるような経営指導や地域活性化事業等に取り組むことを心掛け、新型コロナウイルス感染症の影響から経営環境が大きく変革する中、この方々がリーダーとなり、次世代の牽引者となっていただく仕組みを構築する。</p>
<p><b>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</b></p> <p>経営相談支援事業では、各事業所のニーズと現況を十分に把握した上で、迅速かつ確かな回答が出来るよう職員の資質向上に努め体制を整えた。特に迅速な情報提供と会員アンケートを実施する等巡回訪問を重点的に実施する中、専門相談支援事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少から資金繰りが厳しい事業所が多く、各事業所の実態に合わせた融資の供給を心掛けた。特にキャッシュフローが少なく返済原資が出てこない事業所については、事業計画書の作成等キャッシュフローの増大を図る為の経営指導を合わせて行った。地域活性化事業については、阪南市・熊取町・岬町・忠岡町商工会他泉州地域全体の広域連携を心掛け、新型コロナウイルス感染症対策を講じ効率的に効果が上がるように事業の実施をした。また、雇用調整助成金、大阪府月次支援金、大阪府一時支援金、事業復活支援金と営業時間短縮協力金など経営の安定化に向け補助金の情報提供・申請支援を積極的に実施し、記帳支援に繋げる等支援を行った。</p>
<p><b>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</b></p> <p>経営相談支援事業では、巡回による事業所の実態把握により、迅速かつ確かな支援を提供できた。多種に渡る課題に対応し、相談事業者に一步踏み込んだ相談を実施した事で効果的な支援が出来た。</p> <p>地域活性化事業では、新型コロナウイルス感染症対策を講じイベント開催や新たな手法の導入など積極的に実施することができた。「泉南まるごとフェスティバル」を泉南りんくう公園 (SENNAN LONG PARK) にて開催した。実施にあたっては各団体の協力のもとイベント実行委員会が軌道に乗り、感染症対策として「リストバンド導入と検温ブースの設置」し安全対策を考慮する中、販路開拓や商品開発等に取り組んだ。「せんなんまちゼミ」においても実行委員会が中心となり、開催の一部を「オンラインまちゼミ」導入し開催した。「工業振興対策事業」では先進事業所視察と情報交換会はまん延防止等重点措置の発令もあり中止したが、経営セミナーをYoutube動画配信にて開催した。また、「地域振興検討事業」「雇用・労働啓発セミナー」においても同様にYoutube動画配信にてセミナーを開催した。</p>
<p><b>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、事業規模・業種を問わず、あらゆる事業所が甚大な影響を受け、極めて厳しい経営状況が継続している。感染症の影響が長期化する中、経営相談支援事業では多くの事業者が高齢化し事業継続が精一杯の状態であり、後継者不在のため事業継承をスムーズに行えておらず、地域活性化事業では前向きな事業者が増えているが、販売イベントや展示会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり商機を逃す現況に変化は感じない。</p> <p>こうした現状を踏まえ、我々商工会は地域経済のリーダーとして、地域活性化を図る必要があると考えており、多彩なチャンネルを創出し小規模事業者のニーズにあった経営支援を、より一層拡充し、中小企業・小規模事業者の課題解決に向けて全力で支援する。</p>
<p><b>(5) 次年度の取り組み</b></p> <p>経営相談支援事業については、事業所への巡回訪問をさらに強化し、各種の支援や新型コロナウイルス感染症対策に関連する事業復活支援金や営業時間短縮協力金、他の各種支援金や補助金制度等の情報を提供・申請フォローを行い、潜在的な課題点等を発掘し、早期解決に向けた取り組みを実施する。Withコロナ時代を迎え、専門的な支援を含む多様な支援を望む事業所に臨機応変に対応し、事業の持続的発展に資するよう、伴走型の指導・助言が継続的に出来る支援体制を整える。地域活性化事業においては、泉南市との共同開催による「泉南まるごとフェスティバル」をはじめ、市内事業所から特に要望の多かったSNS(特にInstagram)による効果的な情報発信、顧客との関係構築、広告活用による「情報発信力強化事業」、市内個人事業主の新規顧客と売上を、お客様には満足、地域には賑わいを、取り戻すことを目指した「せんなんまちゼミ」、地域課題である雇用促進について人材不足を解消するため「人材ニーズ対応支援事業」、中小企業が有する共通・共有の経営課題解決を図る「工業振興対策事業」を中心に新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を十分行い実施する。</p>

## I 経営相談支援事業

## 支援のポイント・成果

新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、小規模事業者を取り巻く経営環境は非常に厳しい状況が続き、多種多様の支援が今年度も求められた。当商工会では、経営指導員の窓口での相談対応や巡回時の事業所実訪の際に、事業主とのコミュニケーションを図り、経営状況の課題抽出が出来るよう心掛けて支援を実施した。また、事業所へのサービス提案において、課題解決に向けた支援内容を明確に提示し、そして改善出来るまで継続支援していくという姿勢を示し、相談事業者の信頼を得られるよう努めた。その結果、双方腰をすえて課題解決に取り組む支援体制が出来た。

経営相談支援事業には地域支援ネットワークの構築が必要であり、行政をはじめ各関係機関との連携、地域金融機関との連携から幅広い受け皿が必要である。特に金融支援については、複合的な支援が必要であるため、可能な限り複数の支援メニューを使い支援することに努めた。高度専門化する相談内容に対応するためには、専門家の知識が必要である場合が多いため、弁護士・税理士・中小企業診断士・社会保険労務士等専門家と連携（支援機関等へのつなぎ）出来る体制を取っている。支援機関との繋ぎについては、必ず経営指導員も同行することを励行しており、経過を把握することが出来たことに加え、経営指導員の資質向上にも繋がっている。

## &lt;代表事例カルテ&gt;

2006年よりEコマースを活用した輸入屋外家具の小売・卸売業をスタートさせた。支店増・顧客増・従業員増など事業体制の再構築が必要となり、労働生産性の向上において顧客の見える化、営業活動の見える化など営業成果の最大化を目標とする課題解決のため、営業支援システム（SAF）の導入に伴う経営革新計画の認定申請に向けて経営支援を実施した。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	225	240	106.7%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	30	29	96.7%	5
金融支援（紹介型）	支援数	10	8	80.0%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	30	33	110.0%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	1	100.0%	5
資金繰り計画作成支援	事業所	3	0	0.0%	2
記帳支援	事業所	80	96	120.0%	5
労務支援	支援数	40	37	92.5%	5
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		2
マーケティング力向上支援	事業所	2	3	150.0%	5
販路開拓支援	支援数	40	37	92.5%	5
事業計画作成支援	支援数	15	18	120.0%	4
創業支援	事業所	8	5	62.5%	4
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	5	0	0.0%	2
コスト削減計画作成支援	事業所	11	15	136.4%	4
財務分析支援	事業所	10	17	170.0%	5
5S支援	事業所	0	0		2
IT化支援	事業所	11	12	109.1%	4
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		2
事業承継支援	事業所	10	8	80.0%	4
災害時対応支援	事業所	76	76	100.0%	5
フォローアップ支援	事業所	50	50	100.0%	5
結果報告	事業所	225	240	106.7%	5

## II 専門相談支援事業

## 支援のポイント・成果

税務相談においては、事業主の高齢化に伴い、事業承継（相続）に係る相談が多く、事業承継をスムーズに行うため税務面からの解決に役立った。法務相談においては、労務相談や税務相談では対応しきれない事業遂行上の諸問題に対し、法律面から適切なアドバイスをしていただき、解決に向け前進させることが出来た。労務相談においては、各種助成事業の紹介や取り組み・労使双方の問題解決を心掛けた。経営相談においては、各事業所の抱える経営問題を掘り下げ、経営状況の分析に基づいた適切な支援を実施することが出来た。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務相談	継続	相談件数	6	6	100.0%	5
法務相談	継続	相談件数	6	6	100.0%	5
労務相談	継続	相談件数	6	6	100.0%	5
経営相談	継続	相談件数	12	12	100.0%	5

**Ⅲ 地域活性化事業**  
**支援のポイント・成果**

商業・工業関係における地域活性化事業では、参加事業所の増大と充実を支援のポイントと捉え、参加事業所の目線で事業を実施した。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響は収束せず、Withコロナ時代に適合したイベントの開催手法を検討するとともに、参加事業所にもこれからの出店に対する意識の変革および商品コンセプトの必要性を支援すべきと感じた。

工業・労務関係における地域活性化事業では、交流会とセミナー開催を基本としているため、Withコロナ環境でのリモート開催を積極的に推進し、参加者に慣れてもらう必要があると感じた。また、交流会については、ZOOMなどの環境を整備する必要があることから参加者が限定される懸念があるが、開催については当商工会でも継続して検討していく必要を感じた。

泉南を代表するイベントとして令和3年11月21日に令和2年にオープンした泉南りんくう公園にて「泉南まるごとフェスティバル」（＝地域連携型「泉南まるごと物産展」事業）を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し高槻で開催された「食の文化祭（10/16）」を視察するなど感染症対策を所内で検討し実行することで、好天に恵まれ今まで以上の多くの来場者で賑い、泉州地域の事業者は売り上げアップを図るため、販路開拓や商品開発などに取り組むことができた。この「泉南まるごとフェスティバル」は、泉南市・泉南市観光協会・泉南市商店会連合会・商工会青年部、女性部と連携、また広域連携事業としてオール泉州で取り組むことができ、次年度以降も期待できるイベントと考えている。

泉南地域活性化の起爆剤としてスタートした「せんなんまちゼミ」は、今年度5年目となるが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し感染症対策を所内で検討し、開催の一部を「オンラインまちゼミ」にて実行するなど事務局と実行委員会で何度も協議し開催することができた。

今年度より「工業振興対策事業」を開催し、工業系事業所を中心に意見交換をすることで、共通の課題に対する新しい取り組みや企業間連携を促進した。この「工業振興対策事業」はりんくう地域全体を範囲とし、より事業者間で連携できる体制を整えることを目的としているが、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、工業振興対策委員会にてニーズが高かった「健康経営&助成金セミナー」をオンラインにて開催、先進事業所視察と情報交換会についてはまん延防止等重点措置の発令に伴い開催中止とした。当商工会は令和4年3月9日に「健康経営優良法人2022（中小規模法人部門）」認定されたことも記載しておく。

今年度より新型コロナウイルス感染症の影響により中小企業にも「働き方改革」の波は押し寄せる中、「雇用・労働啓発セミナー」をYoutube動画配信にて開催し、会議・商談のリモート化の注意点、雇用調整助成金などの紹介、最新の労働トピックスについて説明した。

最後に、様々は地域活性化・地域振興事業を総括的に捉えるため「地域振興推進事業」を立案したが、長引く新型コロナウイルス感染症の現況を踏まえ、泉南市産業観光課と6回、政策推進課と1回の会議を重ねてきた。今年度としては感染症の影響からYoutube動画配信にて開催した。引き続き市と協議を継続し地域振興・地域活性化において事業者と一緒に取り組んでいきたいと考えている。

(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	得する街のゼミナール「せんなんまちゼミ」事業	35	30	85.7%	83.0%	まちゼミ実施後のアンケートにおいて販売促進・新規顧客開拓に対する意識が向上した事業所	70%	83.0%	118.6%	5
	工業振興対策事業	15	13	86.7%	92.3%	アンケートの回答で今後の事業に役立った、役立てようと思うと回答した割合	70%	84.6%	120.9%	4
	地域振興推進検討事業	60	67	111.7%	100.0%	アンケートの回答で今後の事業に役立った、役立てようと思うと回答した割合	70%	100.0%	142.9%	4
(2) 広域事業（幹事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	地域連携型「泉南まるごと物産展」事業	50	54	108.0%	94.4%	新規客獲得・売上増加した事業所	30社	43社	143.3%	5
○	雇用・労働啓発セミナー事業	40	41	102.5%	97.6%	アンケートの回答で今後の事業に役立った、役立てようと思うと回答した割合	70.0%	95.1%	135.9%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

泉南市商工会

事業名		得する街のゼミナール「せんなんまちゼミ」事業						
想定する実施期間		平成29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	泉南市では商店街が形成されておらず、商業集積地が点在しており集客力が乏しく個店が収益をあげるのが難しい現状がある。また大型商業施設の進出、少子高齢化などで従来の顧客が減少してきていることも売上低下の要因としてある。そのような状況の中、大型店にはない個店・事業主の魅力を伝え、消費者と個店を強く結びつけることが出来る「まちゼミ」事業を実施することで、個店には新規顧客と売上を、お客様には満足度を、地域には賑わいを、取り戻すことが出来る。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南市内で事業を行っている事業所で、個店の魅力アップと地域活性化に積極的に取り組もうとしている小売及び飲食を含むサービス業						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【第5回せんなんまちゼミ】開催 令和3年10月1日（金）～10月31日（日）にかけて得する街のゼミナール「第5回せんなんまちゼミ」を開催、30事業所にて46講座を開講。合計で289名の受講者を集めることができた。各講座においてまちゼミ受講者（新規顧客候補）とコミュニケーションを取ることによって事業主、店舗、商品のことを知っていただくことができ、まちゼミ受講者の満足度を上げることでその後の来店を促し新規顧客を創出した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け開催が危ぶまれましたが、まちゼミ開催期間には緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が解除されたことを受け予定通り実施しました。ただし開催にあたっては各事業所において大阪府感染症対策ステッカーを取得し会場での感染症対策を実施、また完全非対面型のオンラインまちゼミを活用するなど、コロナ対策を徹底した。</p> <p>【まちゼミ実行委員会】4回開催 参加店舗の主体的な関わりを促すため実行委員を選出し実行委員会を立ち上げ、会議での検討を踏まえ事業を推進した。 令和3年 5月13日（木） 6月15日（火） 7月28日（水） 9月2日（水）</p> <p>【まちゼミ研修会】3回開催 下記の通り研修会と結果検証会を開催、全体的なブラッシュアップや事業者同士の協力関係を築くとともに、主体性の育成を図った。 講師：せんなんまちゼミ実行委員 参加店研修会（リアル&amp;オンライン開催）令和3年6月17日（木）17名参加 直前勉強会（リアル&amp;オンライン開催） 令和3年9月9日（木）15名参加 結果検証会 令和4年3月を予定していたが、大阪府内まん延防止等重点措置の対象となっていたため中止。令和4年度参加店説明会にて結果検証、フィードバックを行うこととなった。</p>						
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携							
②広域連携								
③市町村連携	泉南市の商業担当者と連絡を密にとり、市広報への掲載、泉南市フェイスブックでの広報での発信、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広報活動にて連携を取ることができた。 また市役所が事務局を務める「泉南市観光案内所」にてチラシ配布やまちゼミを開講することができた。							
④相談相乗	まちゼミ開催をきっかけに新規事業立ち上げに向けた事業計画策定支援、ZOOMを活用したオンラインまちゼミ開催に向けてIT活用支援、を経営相談支援にて対応した。							
計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	35	支援企業数(実績)	30	支援実績率	85.7%	満足度	83.0%

事業の実績／目標達成度	<p>新規顧客の獲得を目的に【第5回せんなんまちゼミ】を開催し、合計289名の受講者を迎えることができ、受講者の満足度を向上させることで後の顧客候補を獲得することができた。</p> <p>参加事業所には新規顧客開拓、販路開拓に積極的な事業所が多く、まちゼミを通じて今後の事業に対する前向きな意識変化をもたらすことが出来た。また、まちゼミ研修会とまちゼミ結果検証会を開催、他の事業者とコミュニケーションを図る場を設定することで、お互いに刺激し合い仲間意識を高めることができた。</p> <p>1.支援企業数（実績）について  募集方法・・・会員事業所への郵送、巡回時の案内、参加事業所からの紹介  参加企業数・・・計画段階では35事業所となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり30社にとどまった</p> <p>2.満足度について  まちゼミ実施後の講師店アンケートにて、「今回のまちゼミに参加してどうでしたか」の問いに対して「満足」「やや満足」と回答した比率 25件/30件</p> <p>3.指標について  まちゼミ実施後の講師店アンケート、またはヒアリングにて販売促進・新規顧客開拓に対する意識の変化があった事業所数を計上。  支援企業数・・・・・・・・・・【30】  意識変化が見られた事業所数・【25】</p>												
	<table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td colspan="5">まちゼミ実施後のアンケートにおいて販売促進・新規顧客開拓に対する意識が向上した事業所</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>70%</td> <td>実績数値</td> <td>83%</td> <td>目標達成度</td> <td>118.6%</td> </tr> </table>	指標	まちゼミ実施後のアンケートにおいて販売促進・新規顧客開拓に対する意識が向上した事業所					数値目標	70%	実績数値	83%	目標達成度	118.6%
	指標	まちゼミ実施後のアンケートにおいて販売促進・新規顧客開拓に対する意識が向上した事業所											
数値目標	70%	実績数値	83%	目標達成度	118.6%								
<p>成果の代表事例</p> <p>整骨院・・・泉南市内にある創業3年目を迎える整骨院、これまで継続してまちゼミに参加しておりまちゼミをきっかけに新規顧客獲得に成功している例。新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが第4回せんなんまちゼミ開催の際に女性から「男性と一緒にの講座では受講しにくい」「ヨガやピラティスに関するゼミが受りたい」との要望を受け、受講者を女性限定にしたヨガとピラティスに関する講座を開催。受講者のターゲットを「女性」に絞り込んだ結果、前回より9名多い24名のゼミ申込者を集めることができた。実際にヨガ&amp;ピラティス講座を受講した参加者や友人グループから有料の講座への申込があり、まちゼミが新規顧客の開拓とテストマーケティングとして活かした好事例となった。まちゼミ終了後にも、まちゼミチラシを見て興味を持った女性の新規顧客獲得につながっており、当初の目標である「店舗の魅力発信と新規顧客の獲得」を実行し実売上につながっている。</p>													
<p>その他目標値の実績</p> <table border="1"> <tr> <td>目標値（計画）</td> <td></td> <td>目標値（実績）</td> <td></td> <td>目標達成度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度								
目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度									
実施結果	<p>課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せんなんまちゼミ実行委員会にて運営の改善  実行委員会にて開催時期、広告方法など改善を加え、より効果の出るまちゼミにつなげる。</li> <li>・実行委員の改任により新陳代謝を促し多様なまちゼミを目指す。</li> <li>・ゼミ内容の充実・ブラッシュアップ  ゼミによって集客が好調なところとうまくいっていないところが二分化している。うまく集客できていないゼミへのフォローを強化、集客に繋がれるよう支援を実施する。まちゼミ受講者アンケートや実行委員からの意見を踏まえ個社支援を強化する。</li> <li>・泉南市内他団体との連携、市民参加型まちゼミへの取組  せんなんまちゼミの認知が高まっていることを踏まえ、事業者以外の団体（ボランティアグループや子育て支援団体など）と連携を深めまちゼミを実施することで幅広く集客することができる。</li> <li>・ウィズコロナに向けた取組み  今回、新型コロナウイルス感染症対策として導入した『オンラインまちゼミ』であったがもともとの受講者層にはマッチせず感染症対策としては効果があったものの参加者増効果が薄かった。次年度は対面しつつも感染症対策を徹底、少人数短時間ゼミの推進を図る。</li> </ul> <p>また度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点の発令により対面式の参加店勉強会が開催できず参加店舗の参画意識向上については課題が残る結果となった。次年度は定期的なオンライン座談会の開催や、少人数でこまめに集まり情報交換する場などモチベーションを維持できる取組みを検討している。</p>												

泉南市商工会

事業名

工業振興対策事業

想定する実施期間

R3 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の目的  
(現状や課題をどのような状態にしたいか)

新型コロナウイルス感染症の影響により、りんくう地域を中心とした沿岸部、市内内陸部と山陸部に点在する製造業を中心とする工業系事業者にとって経営課題を共通認識し課題解決に向けた地域事業者間の情報交換は必要と考えており、先進事業所などの技術やノウハウ、経営方針など他社事例を視察することで自社の気付きや取り組む方向性を見出し前向きに経営すること、また中小企業が有する共通・共有の経営課題解決に向けた経営セミナー（府施策連携の中から選択する）を開催し経営力の向上に対するそれぞれの意識を高め、その結果として工業系事業者に関わらず市内の事業者が一体となり経営改善・活性化を目指すことを目的とする。

支援する対象  
(業種・事業所数等)

製造業を中心とした工業系事業者。

事業の概要

実施時期・具体的な内容及び事業手法

1. 経営セミナー【人材育成型】  
経営セミナーとして、令和3年10月26日（火）9時～11月19日（金）17時の期間で「健康経営&助成金セミナー」をYoutube動画配信にて開催した。  
2. 先進事業所視察と情報交流会【人材交流型】  
※新型コロナウイルス感染症の影響により視察先の受入れが困難となり、またオミクロン株発生に伴い過去最高の感染者数を考慮し開催中止とした。

<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>

①府施策連携	
②広域連携	
③市町村連携	泉南市産業観光課商工施策担当者と連携し、経営セミナー開催について情報を共有した。
④相談相乗	ニーズに沿った支援を提案することで相談事業との相乗効果につなげる。web広報等だけでなく、大阪府商工労働部メルマガ等のSNSについても積極的に活用し市内外や未会員問わず、集客につなげたい。

計画に対する実績（数値）

総支援企業数(計画)	15	総支援企業数(実績)	13	支援実績率	86.7%	満足率	92.3%
------------	----	------------	----	-------	-------	-----	-------

目標の達成度  
(支援企業をどう変化させることができたか)

当商工会工業振興対策委員会にて会議を重ねて、新型コロナウイルス感染症の影響から助成金や従業員の離職などの課題解決に向けた経営セミナー開催となった。  
①経営セミナーについて  
「今後の従業員を雇用する上で健康経営の視点でも考えていかないといけない」「業務改善助成金について詳しく学べてよかった」など前向きなアンケートの回答が多く、事業者の意識変化に役立った。事業者だけではなく、当商工会においても「健康経営優良法人2022（中小規模法人部門）」を取得し、今後管内の事業所に対して支援体制が整ったことは非常に大きい。  
先進事業所視察と情報交換会について、管轄エリアで情報共有する機会がないなど当商工会として重要な位置付けの事業と考えている。新型コロナウイルス感染症の影響により市内状況、視察先の受入状態が整っていない状況もあり中止したが、名刺交換で他社の現状や様々な業界動向を聞くこと、双方向での交流拡大を図ることを目的とするとともに、商工会から参加事業者それぞれに適した支援施策の情報提供なども行えることが非常に強みであると考えている。

代表指標	アンケートの回答で今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合						
数値目標	70%	実績数値	84.6%	目標達成度	120.9%		

成果の代表事例

新型コロナウイルス感染症の影響は非常に大きく、中小企業の雇用確保においては経営の最重要課題である。今回セミナーに参加した事業所は「健康経営」について前向きであり、既に支援を実施している事業所もある。

その他目標値の実績

目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度
---------	--	---------	--	-------

実施結果

課題及び次期以降への取組み  
(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)

工業系中小企業が抱える共通・共有の経営課題の解決や、今後の経営の方向性を示す内容のセミナーを受講することにより、経営力の向上に対する意識が高まると考えている。  
新型コロナウイルス感染症の影響は継続し、それに合わせて事業立案する必要を強く感じている。商工会だけでなく「経営セミナー」がYoutube動画配信での開催が主流になってきており、管内事業所においても受入れられてきている。逆に先進事業所視察や情報交換会においてはリアル開催が必要と感じており、実施時期などを慎重に見極める必要がある。

泉南市商工会

事業名		地域振興推進検討事業															
想定する実施期間		R3 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること															
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>大阪府南部に位置する泉南市ではネット通販の普及やショッピングモール等の進出によって、周辺地域の小売店が経営の危機を迎えている。また、各店舗や商店街は泉南市内に点在し、その寂れた雰囲気や余計に客足を遠ざける悪循環にはまっている。かつて製造業中心であったわが町もリーマンショック以降、製造原価を下げるために工場が日本国外に移転させられるなど工場閉鎖が増加した。その結果、地域では空洞化現象がみられ、雇用の喪失や低賃金化の現象を起因とした人口減少により産業や地域活動の担い手が不足した。地域振興のためには、人口を維持、または増加させる必要がある。そのためには、他の地域から人を呼び込むことと、他地域への人口流出を防ぐことが必要である。</p> <p>泉南市内における新型コロナウイルス感染症の影響は地域経済において深刻なダメージを与え、中小企業・小規模事業所において働き方を変革しサービス提供について柔軟に対応せずには生き残れない時代に突入していると言っても過言ではない。また、1月14日には緊急事態宣言が再発令されるなど地域住民の生活スタイルも大きく変化するとともに、地域内での住民がサービス提供を受ける機会は増加していると考えられる。</p> <p>市役所と連携を取りながら泉南市内での現況を分析し、地域の活性化に必要な施策の導入について勉強会やセミナーを実施し上手く流通し浸透することで地域振興・地域活性化を目指すことを目的とする。</p>															
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南市内で事業を行っている事業所で、地域振興・地域活性化に積極的に取り組みようとしている小売及び飲食を中心に生活関連サービス業など															
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>市役所等と連携し、地域振興・地域活性化について年3回の勉強会にて実施を目指していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、Youtube動画配信にて開催した。</p> <p>開催期間：令和4年2月25日（金）10時～3月25日（金）17時</p> <p>●第1回「地域カード導入について考える事例紹介」</p> <p>①広島県庄原市東城町ほろかカード、兵庫県神戸市名店会セルバカードの事例</p> <p>②北海道東川町のHUCカードの事例</p> <p>開催期間：令和4年2月25日（金）10時～3月25日（金）17時</p> <p>●第2回「ふるさと納税返礼品で魅力的な商品づくり」</p> <p>①ふるさと納税返礼品～いま人気の品とは？ ②お客様目線で考える</p> <p>③「いまあるモノ」で魅力的な返礼品の作り方</p> <p>開催期間：令和4年2月25日（金）10時～3月25日（金）17時</p> <p>●第3回「ふるさと納税返礼品クチコミ・レポートを増やす情報発信」</p> <p>①レポート受注の仕組みづくりで安定売上に！ ②+αで「欲しい！返礼品に」アイデア集</p> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>泉南市産業観光課商工施策担当者と政策推進課ふるさと納税担当者と情報共有を含め事業詳細や事業実施方法について連携し、地域振興・地域活性化を目指すとともに事業者のニーズをお互いに把握し、地域ブランド力強化について支援した。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>ニーズに沿った支援を提案することで相談事業との相乗効果に繋げ、事業所の新たなビジネスチャンス創出を支援した。</td> </tr> </table>								①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	泉南市産業観光課商工施策担当者と政策推進課ふるさと納税担当者と情報共有を含め事業詳細や事業実施方法について連携し、地域振興・地域活性化を目指すとともに事業者のニーズをお互いに把握し、地域ブランド力強化について支援した。	④相談相乗	ニーズに沿った支援を提案することで相談事業との相乗効果に繋げ、事業所の新たなビジネスチャンス創出を支援した。
	①府施策連携																
②広域連携																	
③市町村連携	泉南市産業観光課商工施策担当者と政策推進課ふるさと納税担当者と情報共有を含め事業詳細や事業実施方法について連携し、地域振興・地域活性化を目指すとともに事業者のニーズをお互いに把握し、地域ブランド力強化について支援した。																
④相談相乗	ニーズに沿った支援を提案することで相談事業との相乗効果に繋げ、事業所の新たなビジネスチャンス創出を支援した。																
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	60	総支援企業数(実績)	67	支援実績率	111.7%	満足率	100.0%									
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>地域が抱える共通の課題を認識し、中小企業が抱える共通の課題解決や今後の方向性を示す内容のセミナーを受講することにより、地域振興・地域活性化を掲げながら事業所自体の経営強化に努めたいと考えセミナーを開催した。</p> <p>第1回「地域カード等についても自社で検討している」「キャッシュレスについて参考になった」など前向きな意見が多かった。情報を市役所産業観光課と情報を共有した。</p> <p>第2回「ふるさと納税返礼品について自社で取り組んでいきたい」「より魅力的な返礼品にチャレンジしたい」など前向きな意見が多かった。情報を市役所政策推進課と情報共有した。</p> <p>第3回「自店でも取り組めることはあった」「取り組み例などが参考になった」と前向きな意見が多かった。情報を市役所政策推進課と情報共有した。</p>															
	成果の代表事例	「ふるさと納税返礼品」にチャレンジしたい事業所を今後ブランド創出支援も含めて支援を継続していく。															
	代表指標	アンケートの回答で今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合															
	数値目標	70.0%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%											
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度												
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度泉南市と情報交換会を年6回開催するなど一緒に地域活性化に取り組む体制を構築している。令和4年度市長選挙など泉南市の方向性について早期に事業計画に落とし込み不可能なため、今後は積極的な情報共有をベースに事業を邁進する。															



泉南市商工会

事業名		地域連携型「泉南まるごと物産展」事業							
想定する実施期間		平成25 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商店のほとんどの店舗が点在している泉南地域では、商店街等の商業集積地域が少なく、また大型店の出店に伴い商店が疲弊し集客力に乏しいのが現状である。そこで地域の商業者の店舗を1ヶ所に集めシリーズ「地産知消」（地域で生産されたものを知って消費する）として物産展を開催することで集客力を高めることが出来る。大型店にはない泉南地域の事業所自慢の商品を展示PR・対面販売することで商品の良さを知らてもらい、販路開拓につなげることが出来る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南地域（泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町）の事業者全般							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【泉南まるごとフェスティバル】の開催 令和3年11月21日（日）泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）において『泉南まるごとフェスティバル』を開催、泉南地域の商工業と地域製品のPRを行いました。</p> <p>【泉南まるごと物産展】では、泉南・阪南・岬・熊取・忠岡の5商工会が連携しキッチンカー8台を含む54店舗（泉南26：阪南18：熊取5：岬3：忠岡2）が出店し商品の販売と事業所PRを行いました。当日の天候は晴れ時々曇り、日中は晴天に恵まれ最高気温19度の小春日和の中、昨年を上回る来場者約8000名を迎え盛会のうちに終了することができました。泉南市のみならず府内全域からも集客できる泉南を代表するイベントとして成長し、泉南市の商業、工業、農水産業を広くアピールすることができました。</p> <p>コロナ禍での開催感染症対策として、出店事業所はすべて大阪府感染症対策ステッカーを取得し、会場では検温消毒ブースを設置し来場者に発熱がないことを確認しリストバンドを配布することで安心安全を可視化、さらに各ブースにおいても消毒を実施、ソーシャルディスタンスの確保やマスクの着用をポスターで周知するなど感染症対策を徹底しました。</p> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>							
		①府施策連携	会場の一角に大阪府技能士連合会の技能士PRブースを設置、【大阪府印章技能士会による石のはんこづくり教室】【大阪府フラワー装飾技能士会によるフラワーアレンジメント教室】【大阪府調理技能士会によるプロに学ぶだし巻きのコツ料理教室】【大阪府畳技能士会によるミニ畳制作教室】【大阪内装仕上技能士会による壁紙封筒づくり教室】5つのものづくり体験教室を開催し、来場者に対し技能士が有する技術や技能をわかりやすくアピールするとともに若者へモノづくり体験の機会を提供した。						
		②広域連携	連携商工会の担当者と随時連絡を取り、昨年の反省点や改善点など意見交換が出来る連携体制を構築した。その後も適宜担当者と連絡をとりつつ円滑な事業運営を実施した。						
③市町村連携		泉南市産業観光課の担当者含め、地域関係団体で「泉南まるごとフェスティバル実行委員会」を組成し会議を開催。地域の商業者と泉南市の商業担当者でまるごとフェスティバル実施に向けた企画、打合せを行った。 また広報面でも連携し、市広報への掲載、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布、市関係のSNSでの発信などの広く広報を行うことができた。イベント当日は泉南市の施策RPブース、観光案内ブースを設け行政施策をアピールすることができた。							
④相談相乗	イベント出店勧誘の際には事業所の支援ニーズを把握することで適切な支援につなぐことができた。またイベント出店の際には事業所の希望に応じてショップカード作成を支援、店頭で配布することでイベント後日に店舗を利用していただけるよう支援を実施した。								
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50	総支援企業数(実績)	54	支援実績率	108.0%	満足度	94.4%	

事業 全体 の 実績 ／ 目標 達成 度	目標の達成度  (支援企業を どう変化させる ことができたか)	<p>泉南市ではこれまで各団体が各々にイベントを開催している状態で、泉南を代表するようなイベントが存在していなかった。今回開催した『泉南まるごとフェスティバル』は各団体の垣根を乗り越え、泉南市がワンチームで取り組む一大イベントであり商工業のみならず農海産物の出店や、地域の各団体を含めた泉南の魅力を広く発信することができた。</p> <p>回を重ねるごとに来場者数は増えており、店舗への来店客数は売上とともに増加している。</p> <p>1.参加企業数（実績）について ・広域連携で実施。各商工会からはほぼ計画通りの出店者数、泉南地域からは計画を上回る出店希望があり（泉南26店舗、阪南から18店舗、熊取から5店舗、岬から3店舗、忠岡から2店舗。合計54店舗の出店となった。</p> <p>2.満足度について ・まるごと物産展終了後のアンケートにて満足・やや満足と回答した出店事業所数の割合</p> <p>3.指標（新規顧客獲得・売上増加した事業所）について ①販売件数50件以上 ②販売金額20,000円以上 ・上記①②のどちらかに該当する事業所数： 43事業所</p> <p>今回は前回と比べ来場者増（約7000名→約8000名）となり、出店した事業所の売上も増加した。 出店した事業所の満足度も向上（87%→94.3%）している。</p>					
		指標	新規顧客獲得・売上が増加した事業所				
		数値目標	30社	実績数値	43社	目標達成度	143.3%
	成果の代表事例	<p>飲食店・・・泉南市内にある総席数400席を誇る割烹であるが、新型コロナウイルス感染症感染拡大による時短営業、酒類提供の制限、不要不急の外出自粛、等の要請を受け店舗での宴会売上が大幅に減少している。最近では質の良い料理をお弁当にしてイベントでのテイクアウトお弁当販売事業を開始している。もともと地域での知名度はある事業所でイベント当日の売上も好調であった。販売先にはお弁当テイクアウトに関するフライヤーをお渡しし、後日売上につながるようPRを行った。結果、後日新規先からテイクアウトお弁当の注文が入るなど新規顧客の獲得につながった。</p>					
その他目標値の実績	目標値 (計画)	2,500名	目標値 (実績)	8,000名	目標達成度	320.0%	
	<p>イベント開催当日は日中は晴天に恵まれ最高気温19度の小春日和の中、過去最多の来場者約8,000名を迎えることができた。感染症対策として出店事業所はすべて大阪府感染症対策ステッカーを取得し、会場では検温消毒ブースを設置し来場者に発熱がないことを確認しリストバンドを配布することで安心安全を可視化、さらに各ブースにおいても消毒を実施、ソーシャルディスタンスの確保やマスクの着用をポスターで周知するなど「安心安全」を目指し感染症対策を徹底したおかげで、感染者を発生させることなく来場者には安心してイベントを楽しんでいただくことができました。また事前の広報では泉南市内への新聞折込だけでなくSNSやイベント情報サイトを活用、出店者へもSNSを活用した情報発信を促したことで泉南市外からの来場者の増加につながった。</p> <p>また来場者から非接触型のwebアンケートを実施、来場者の属性や目的等を把握し次回以降の広報活動に活かす予定である。</p>						
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>開催会場である泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）は令和2年に開業したスポーツ・食・レジャーをまるごと体験できる関西最大級のレクリエーション施設で、抜群の集客力を誇っている。</p> <p>イベント当日も想定を超える多くの来場者を迎えることができたが、その一方会場内の飲食ブース行列が発生し密集空間になっている個所や、検温ブースでの人員不足による行列が発生した。この点については人員の増員や適切な配置を検討し対応する。</p> <p>また各店舗では多忙なため、お客様とのコミュニケーションと後日店舗への来店を誘導するための事業所PRが十分行えず新規顧客獲得が疎かになっていた。この点については次年度以降は情報発信力を強化するためのセミナーを開催することでSNSでの情報発信力を強化し、事業所自身が店舗に関する情報を自力で発信できる力を養う。</p>					

泉南市商工会

事業名		雇用・労働啓発セミナー事業							
想定する実施期間		R3 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染が主要な感染経路とされている。それ以外の経路についても可能性が取り沙汰されているが感染は確率的に決まるので、まずは可能性が高い部分から対処するのが原則であり、確率が低い部分について感情的になって議論してもあまり意味はない。飛沫感染と接触感染を回避するためには、人が近距離で密集する場所に長時間滞在することを避け、他人とできるだけモノのやりとりをしないことが重要であり働き方の変化の流れは新型コロナウイルス感染症が収束したとしても変わらないと推測する。</p> <p>中小企業においても雇用の維持や多様な働き方が求められている中、テレワークと時差出勤の導入、書類の受け渡しの抑制、会議・商談のリモート化など企業にとって必要な変革に柔軟に対応できるように支援し、雇用調整助成金などの補助金助成金などの紹介および申請における注意点なども支援することを目的とする。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉州地域2市3町（泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町）の事業者全般であり、新型コロナウイルス感染症拡大における労働環境の整備や雇用、助成金の活用などを前向きに取り組みたい中堅・中小企業の経営者および管理職を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>開催内容：令和3年度泉州地域から発信する雇用・労働啓発セミナー                  開催日時：令和3年6月16日（水）12時～7月7日（水）17時まで                  開催手法：Youtube動画配信</p> <p>●第1部「WITHコロナ時代の労務管理とは」                  新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中小企業が取り組むべき労務管理、知っておくべき最新労務トピックスなど経営基盤強化に取り組む内容をわかり易く講義した。</p> <p>●第2部「コロナ禍でも活用できる事業・施策紹介（大阪府）」                  大阪府労働センターの取り組み（労働相談、労働環境改善の課題解決など）やOSAKAしごとフィールドでの就労支援の取り組みを紹介、報告した。</p> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>							
		①府施策連携	大阪府雇用推進室労働環境課労働環境推進グループ、OSAKAしごとフィールドと連携した。						
		②広域連携	連携商工会の担当者と随時連絡を取り、参加者募集、チラシ配布やHP掲載など業務を分担した。						
	③市町村連携								
	④相談相乗	雇用促進や労務支援など継続しフォローアップ等を実施。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	40	総支援企業数(実績)	41	支援実績率	102.5%	満足率	97.6%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>泉南地域は恒常的に人材不足であり雇用確保問題が経営者を悩ませている。新型コロナウイルス感染症の影響はさらに事業の深刻さを増している状況にあり、オール泉州で課題に取り組むことができたことは非常に大きな意味を持つと考える。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、急遽リモート開催となったが各商工会の連携が取れており、多くの事業経営者が参加され受講した。</p> <p>中小企業が抱える共通の課題解決や今後の方向性を示す内容のセミナーを受講することにより、今後大きく変革するであろう雇用を含めた労働環境において、最新の労働トピックス、大阪府労働センターの事業や施策の紹介により『適正な労務管理』の意識を根付かせることができた。</p>							
		代表指標	アンケートの回答で今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合						
		数値目標	70%	実績数値	95.1%	目標達成度	135.9%		
	成果の代表事例	リモート勤務ばかり注目がいくが「コロナ陽性者がでた場合の対応について検討する」「将来に向けた事業経営について検討する」など労務管理が新たな段階に進んでいることを認識した事業所が増加した。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響はまだ大きく、今回リモート開催への変更を余儀なくされたが、参加者の方もセミナー手法に慣れつつあるのを感じている。</p> <p>泉佐野より南の泉州地域では労働者不足、雇用継続の難しさ、新規雇用は益々厳しい状況となった。Withコロナ時代を迎えてより大きな視点からの労働環境を見直し、様々な事案を臨機応変に対応することが必要であることを感じた経営者が多いことから、次年度以降も労働環境整備に向けて大阪府施策事業から経営セミナーの実施をする。</p>							